

令和7年度（令和6年度分）自己点検取り組み状況報告書

こども発達支援所はる 児童発達支援センター

①情報共通の時間が取れない職員がいることについて。

⇒ノートを作成して話し合ったことをまとめている。職員間で共有アプリを用いながらスケジュール管理をしている。

こども発達支援所はる 放課後等デイサービス

①地域の他の子どもと活動する機会が持てないことについて。

⇒長期休みに地域の祭りに参加し、その様子を SNS にて発信した。また、参加した児の保護者には直接 LINE でその様子を伝えた。

②保護者会があることを周知できていないことについて。

⇒10月に保護者会が実施される予定なので、送迎時に直接保護者へ伝えたり、SNS を通じてその内容等について知らせる。SNS にてはるの活動を発信していることを、モニタリングや会議の中で保護者に知らせるために QR コードをプリントしたものを作成し掲示をした。

③定期的に避難・救出・その他必要な訓練が行われていることを周知できていないことについて。

⇒避難訓練に参加した児の保護者には直接 LINE でその様子を伝えた。また、SNS でその様子を発信し、事業所では定期的に必要な訓練が行われていることを伝えた。

こども発達支援所はる 保育所等訪問支援

①保護者への支援内容の伝達が連絡ノート中心になっていることについて。

⇒ノートでの伝達が難しい場合は、LINE や電話で相談の対応や連絡をとっている。また、ノートでの返事の際は最後に「ご不明な点があればお気軽にお問い合わせください」の一文を意識して残すようにしている。個別支援計画の面談などは可能な限りで対面をお願いしている。

はる step

①クールダウンや着替えに使う個室がない点について。

⇒学習室は時間を区切って利用し、必要な子どもには他児と別時間で個別対応した。

②歩いて行ける場所に公園や広場がない点について。

⇒車で10分以内で行ける公園が多数あり、季節や利用児の状況に合わせて利用ができた。グリーンパークでの芝滑り体験はとても良かった。

③当事業所以外の子どもの交流がないことについて。

⇒村上大祭、七夕の獅子舞見学、きらら運動教室、警察署やエコパーク見学等、長期休みで体験できた。

はる grow

①土日祝日が休みのためのニーズと支援の優先度の確保について

⇒保護者の主訴や支援者の評価による必要な支援に基づいて課題を選定し、定期的にアセスメント・

評価を行っている。

はる leap

①集中しやすい環境調整が難しいことについて

⇒リハビリテーションや振り返りなどはスタッフルームを使用し、クールダウンは他児と離れた場所
で対応している。

②大きな声を出して活動することができないことについて

⇒活動時だけでなく、普段の支援中も声の大きさのルールを提示することで、児自身の気付きから行
動修正し、習慣化することにつながっている。